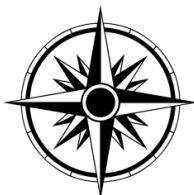


羅針盤



2019年8月21日(水) 第95号

何かを光らせるには、
光るまで磨くだけでいい。
斎藤 茂吉（歌人、1882 - 1953）

それぞれの目標に向かって

涼しい「夏」の後、急激に、そして危険なほどの猛暑が続いた今年の夏。これまで経験したことがない長期間の課外では、体調を崩す生徒も目立ちましたが、充実した学びができたものと考えています。課外後のマーク模試や校内模試で、その成果を確認できたでしょうか。

部活動では、目標としていた全国の舞台で躍動した仲間たちがいました。目指していたような成績は得られなかったかもしれないが、一生の宝となる経験ができたのではないだろうか。音楽系3部（コーラス・吹奏楽・クラシック）の定期演奏会では、若さあふれるパフォーマンスを多くの市民の皆さんにご覧いただくことができた。

夏休みは終わった。いよいよ目標に向かって走り出す時期に入った。センター試験を「最初のゴール地点」と考えれば、150日間のマラソンのようなものだ。コースプランはできているか。シューズのひもは、しっかりと結んだか。さあ、一步前へ。

8～9月	曜日	行 事 等	課題提出	センターまで
21日	水	全校集会、校内模試②(理社)	国・英	150
22日	木			149
23日	金	全統記述模試(放課後)		148
24日	土	全統記述模試		147
25日	日			146
26日	月	(午後「花かつみ祭」準備)		145
27日	火	(午後「花かつみ祭」準備)		144
28日	水	(全日「花かつみ祭」準備)		143
29日	木	(全日「花かつみ祭」準備)		142
30日	金	(全日「花かつみ祭」準備)		141
31日	土	「花かつみ祭」(校内公開)		140
9月1日	日	「花かつみ祭」(一般公開)		139
2日	月	(「花かつみ祭」片付け)		138
3日	火	(代休(8/31))		137
4日	水	(代休(9/1))		136
5日	木	*前期末考査一週間前	英語	135
6日	金	「センター試験」出願説明会		134

☆全統記述模試(8/23～24)

8/7～8のマーク模試がセンター試験、この記述模試が2次試験だという意識で臨もう。

☆3年に一度の「花かつみ祭」の代休後の9月5日、前期末考査(9/12～18)まで一週間となる。このことも意識し、気持ちを切り替えて代休を過ごして欲しい。前期中間の時点で一度「3年時の成績」が出されたが、前期末の結果で見直しが必要となる。前期で課題があった人は、ここで挽回して欲しい。

☆「センター試験」出願説明会が行われる。センター試験は、ここから動き出すのだと自覚して欲しい。重要な説明会だ。

3年に一度の公開文化祭「花かつみ祭」に向けて、どのクラスも準備が夏休み中から準備が始まっています。「校内合唱コンクール」に続き、ここでも3年生の文化レベル(?)の高さを発揮して欲しいものです。保護者の皆様も、ぜひ足をお運びいただけますよう、スケジュールを空けておいていただけるとありがたいです。なお、「花かつみ祭」についての詳細は、また後ほどお知らせいたします。

◎今後の主な推薦入試スケジュール

9月5日(木)～11日(水)	「指定校推薦一覧」公開期間：教室にて公開する
<u>9月19日(木)～9月25日(水)</u>	推薦入試校内応募期間 *指定校推薦(一人1回のみ) *公募推薦 *センター試験を課さない国公立大学 (一部センター試験有りの国公立大も含め)
10月2日(水)	第1回推薦入試校内選考会議
10月上旬～	個別指導開始(小論文、面接、学科、実技など)
10月下旬～	私立大学推薦出願
<u>10月24日(木)～10月30日(水)</u>	推薦入試校内応募期間 *センター試験を課す国公立大学
11月6日(水)	第2回推薦入試校内選考会議

※「3学年保護者会」資料の14ページから、スケジュールの一部を転載しました。これ以降の日程は、資料を確認してください。

※公募推薦については、「3学年保護者会」資料の13ページに、次のように定められています。

② 公募推薦は「願書受付開始日」の2週間前(その日が休日の場合はその翌日)までに、不備なく記入・押印した『推薦願』(または『AO入試出願届』)と『志望理由書』をホームルーム担任に提出する。その際には、大学の募集要項で「推薦条件」、「学校内の推薦枠数」、「選考方法」、「出願期間」がわかる部分のコピーを添付する。なお、指定校推薦以外の「出願願書」は各自で取り寄せること。

ただし、「第1回校内選考会議」および「第2回校内選考会議」に応募する場合には、校内応募期間中に、上記②の書類を、ホームルーム担任に提出する。

※上記は一部を抜粋したものです。推薦受験を考えている者は、必ず「3学年保護者会」資料により、注意点など詳細をしっかりと確認するようにしてください。

「**平和宣言**」(今年8月6日の平和記念式典で読み上げられたものの一部です。ぜひ広島市のHPで全文を読んでください。君たちに向けて訴えかけているのです)

今世界では自国第一主義が台頭し、国家間の排他的、対立的な動きが緊張関係を高め、核兵器廃絶への動きも停滞しています。このような世界情勢を、皆さんはどう受け止めますか。二度の世界大戦を経験した私たちの先輩が、決して戦争を起こさない理想の世界を目指し、国際的な協調体制の構築を誓ったことを、私たちは今一度思い出し、人類の存続に向け、理想の世界を目指す必要があるのではないのでしょうか。特に、次代を担う戦争を知らない若い人にこのことを訴えたい。

世界に目を向けると、一人の力は小さくても、多くの人の力が結集すれば願いが実現するという事例がたくさんあります。インドの独立は、その事例の一つであり、独立に貢献したガンジーは辛く厳しい体験を経て、こんな言葉を残しています。

「不寛容はそれ自体が暴力の一形態であり、真の民主的精神の成長を妨げるものです。」

現状に背を向けることなく、平和で持続可能な世界を実現していくためには、私たち一人一人が立場や主張の違いを互いに乗り越え、理想を目指し共に努力するという「寛容」の心を持たなければなりません。そのためには、未来を担う若い人たちが、原爆や戦争を単なる過去の出来事と捉えず、また、被爆者や平和な世界を目指す人たちの声や努力を自らのものとして、たゆむことなく前進していくことが重要となります。